

令和２年 第４回建設技術研究開発評価委員会 <議事要旨>

日 時：令和２年８月７日（金）１５：２５～１６：２５

場 所：Web 会議

出席者：加藤 信介、古関 潤一、佐田 達典、清水 康行、田中 哮義、二羽 淳一郎、
平田 京子、本橋 健司、野城 智也、山口 栄輝（五十音順、敬称省略）

議 事：

- ・総合技術開発プロジェクトについて
- ・ヒアリング審査「建設事業各段階の DX（デジタルトランスフォーメーション）による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発」

配付資料：

資料１ 総合技術開発プロジェクトについて

資料２ 建設事業各段階の DX による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発

議事要旨：

令和３年度の新規要求課題候補（１件）について、事前評価を実施するため、外部有識者会議を開催した。委員の主な意見は下記の通り。

- 「建設事業各段階の DX による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発」
 - ・DX データセンターについて、国や一般企業のみでなく、地方自治体や研究機関も使用可能にするなど、幅広い機関で使用可能である方が有効性は高い。
 - ・研究開発の体制について、部署名も含めて記載するなど具体的にした方がよい。
 - ・技術革新が早い分野なので、実施期間中に内容が陳腐化しないよう柔軟な対応が必要。
 - ・収集すべきデータや必要なソフトウェア検討は、データ収集・解析の専門家にも協力していただきながら進めるとよい。
 - ・国際的な規格に整合するようにデータセンターを作るとよい。
 - ・コンクリート工や ICT 土工等に関する技術開発について、「抜本的な労働生産性向上」をどのように達成するのかを、数値目標の設定も含めてより明確にするとよい。